

the people

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する 市民がいる

the people (NPO法人ザ・ピープル)

令和元年(2019年) 11月号

発行:特定非営利活動法人 ザ・ピープル

代表者:吉田 恵美子

所在地:〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6

TEL:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298

URL:http://npo-thepeople.com/

E-mail:the-people@email.plala.or.jp

onahama.volunteer@gmail.com



特集

台風19号被災者支援に動く

10月13日にいわきを襲った台風19号により、市内を流れる夏井川をはじめとする何本かの河川が氾濫し、浸水被害にあった家屋が7000棟を超えるという事態に見舞われました。ザ・ピープルが「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」としてコットン栽培を行っている圃場の一つも夏井川の氾濫のために水没し、目にしたときには泥の海の中に倒れかけた株が顔を覗かせているという状況でした。また、その圃場を管理している農家の自宅も床上浸水の被害に見舞われ、1ヶ月以上経過した現在でも床下に溜まった泥を取り除くための作業が続いている状況にあります。

11月初めの3連休の時期、関係業界や消防団、ボランティアが一斉に動き、大分街中の被災ゴミの片づけは進みましたが、それ以前は被災エリア内の道端や公園の至る所に被災家財が山積みになり、正に東日本大震災発災当時の津波被災エリアの情景が蘇ってくるようでした。この情景を目の当たりにして、本会としても「ボランティアセンター」の機能を持つ組織として動き出さずにはいられませんでした。

本会のできる支援の形として、支援物資の提供とボランティアの派遣の2方向でこれまで活動を進めてきました。



▲浸水被害の住宅でのボランティア作業の様子▲

支援品の提供については、好間町・平北目地区内の個人宅で割合に被災ダメージの少なかった地域住民宅を拠点として、小さなエリア内でのコミュニティを生かしたニーズの聞き取りとそれに対応する形での支援品の提供を実施してきました。被災直後は、浄水場の被災により2週間以上いわき市の北半分で水道が断水するという状況だったため、被災住宅の掃除をするにも十分な水の使用が困難でした。水と使い捨てにしても大丈夫なタオルの要望が多く寄せられたために、先ずはその要望に対応しました。その後、時間の経過と状況の変化に応じて、ニーズも変わってきたため、防寒着や下着などの被災者ニーズのヒアリングを行いながら情報を発信し、支援品を集める形を採っています。さらに、フードバンク事業に着手していたことが今回の支援において役立ち、広域的な被災者支援の動きの中で提案された食品提供の受け皿として、本会が被災者や支援団体との間をつなぐという場面も生まれています。

「ボランティアセンター」としてのボランティア受け入れ・派遣に関しては、(社)いわき市社会福祉協議会の開設した「いわき市災害ボランティアセンター」と連携する形で行っています。



▲水没したコットン畑が壊滅状態に

▲各被災地域に支援物資提供の様子▲

ただし、本会の本来業務がかなり膨らんでいることもあるので、被災地に向けたボランティアの派遣は基本的に週末に集中させる方向になっています。また、受け入れるボランティアに関しても、以前からつながりのある団体や個人に限定して変則的な運営になっているため、お問い合わせやご要望に応えきれていないという部分があり、ご迷惑をおかけしていることはここでお詫び申し上げたいと思います。

こうした支援活動に関しては支援者間の情報共有が必須との共通認識を持った団体と共に、10月31日から週1回ペースで支援者の情報共有会議に加わっています。また、この会議の中で知り合った団体からの要請を受けて、被災者向けの衣類の提供やフードバンクでの食品提供などの動きも出てきています。

私たちが動き出したことをSNS上でお知りになったご縁のある方々から、支援金を送っていただいたり、衣類やヘルメット、土嚢袋、ホッカイロ、食品などの支援品をお送りいただいたり、本当に地域外の方々に助けて頂いて今日まで動き続けています。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

広域な被災をもたらした今回の台風被害。これまでに各地の災害ボラセンは当初の目的を達成したとの認識から閉鎖へと動いていますが、いわきではまだ状況の改善の道半ばであるという認識から閉鎖は見送られています。2020年の年明けを皆が明るい気持ちに迎えられるよう、今後も皆様のご支援をお願い申し上げます。

※本会では、10月予定であった会報の発行時期を1か月遅らせ、今回の台風被災者支援の動きのご報告をさせていただく事といたしました。



▲支援団体様より支援品が届く

▲全国らの支援品を整理するスタッフ

今回の台風被害において支援を頂いた団体様 (順不同)

- ◆れんげ国際ボランティア会
- ◆三田を知る会
- ◆あじさいの会
- ◆平方部赤十字奉仕団
- ◆日本赤十字社宇部市地区
- ◆花王(株)
- ◆ルリーツ コクア会
- ◆コーラス デジ
- ◆三井住友信託銀行(株)有志一同
- ◆イオンクレジットサービス(株)総務G
- ◆イオンロダクトファイナンス(株)人事総務部
- ◆イオンフィナンシャルサービス(株)総務部
- ◆(特活)国際交流の会とよなか
- ◆いわき市北好間団地有志一同
- ◆東北ボランティア有志の会香川
- ◆クリフォードチャンス法律事務所
- ◆ガールスカウト東京第8団
- ◆エコ・アカデミークラブ
- ◆活協同組合バルシステム山梨本
- ◆生活協同組合バルシステム福島
- ◆レオファーム(株)
- ◆株式会社 ダイエー
- ◆日本リ・ファッション協会
- ◆島田パティグループ
- ◆福徳産業株式会社
- ◆エキヤ産業株式会社社員一同
- ◆東京海上日動あんしん生命対策室
- ◆東京海上ミレア小額短期保険(株)
- ◆東京海上ホールディングス(株)事業戦部 未来塾
- ◆熊本市御船中学校有志一同
- ◆30名の個人の皆様